

表紙の写真

小口径管推進工法を利用し暗渠集排水管を敷設する地下水位低下工法は、三工程方式の施工方法が一般的です。一工程目の鋼管推進で推進力が上昇した場合、以降の工程で推進もしくは引戻しではさらに推進力が上昇する可能性があり、施工中断を余儀なくされる場合があります。推進力もしくは引戻し力の管理には十分な注意を払わなければなりません。

KBドレーン工法では、一工程目のKB推進管の推進工程で推進力の上昇がみられた場合、到達後、滑材注入孔が装備されているKB推進管の先頭管を回収し、KB複合管の直前に接続させKB複合管を推進することで、二工程目でも滑材注入が可能となり滑材効果を高め推進力低減を図ることが可能です。それにより三工程目のKB複合管のさや管を低い引戻し力で施工することが可能となりました。



KBドレーン工法協会

目次

3	●写真速報 台湾研修会／(株)G&U技術研究センター見学会／2024年度非開削技術講習会／第37回理事会／WIND EXPO春 第14回 [国際] 風力発電展	
7	●特集／極小口径管、弧状推進、地下水位低下、立坑構築技術	
8	●特集のねらい	アイレック技建(株)(機関誌編集委員) 森 治郎
13	・非開削工法を「早く」「柔軟に」「コンパクトに」施工「テラジェット工法」	(株)東洋工務店工務部特殊工事課課長 吉田 伸司
18	・縦断方向曲線を利用した円弧推進 —アルティミット工法—	機動建設工業(株)土木本部技術課課長 須藤 洋
24	・液状化現象対策として注目される特殊集排水管敷設 リカバリー対応が可能なKBドレーン工法	KBドレーン工法協会事務局長 原辺 泰秀
29	・レジェンドパイプ工法における施工実績と維持管理について	アサヒエンジニアリング(株)常務取締役(レジェンドパイプ工法協会事務局長) 橋ヶ谷直之
34	・矩形マンホール築造技術 ～従来工法との差別化を図る～	沈設立坑協会事務局 木村 伸尚
38	・コンクリート製ケーシングMMホール	MMホール協会技術委員 鈴木 輝男
42	●談話室 働きやすい環境とは	(株)奥村組営業本部公共営業推進部推進課 市田 奏子
44	●事務局報告 台湾研修会	(一社)日本非開削技術協会事務局長 榑 克実 アイレック技建(株)非開削推進事業本部営業部 根本 亜矢子 東京電力パワーグリッド(株)本社工務部流通土木グループ 浦田 智仁 東京電力ホールディングス(株) 前原 健治 中川ヒューム管工業(株) 坪内 航太 コーワ化成(株) 中島 稜太
52	●学生記者シリーズ 第2回 大谷石採取場跡の取材視察	国士館大学 張 雯笛 アイレック技建(株) 合馬 千華
55	●国内イベント報告 国内イベント報告	
60	・G&U 技術研究センター見学会参加報告	(公財)深田地質研究所理事・上席研究員(機関誌編集委員) 鈴木 敬一
64	・安藤ハザマ技術フェア2025 参加報告	(公財)深田地質研究所理事・上席研究員(機関誌編集委員) 鈴木 敬一
67	・震災対策技術展 参加報告	アイレック技建(株)四国支店 中田 琴乃
74	●UP DATE	
78	●Back Number	
81	●委員会	
82	●編集後記	川崎地質(株)大谷石採取場跡地観測所 大村 猛
		NTTインフラネット(株)設備本部設備マネジメント部アーバンデザインセンタ所長(機関誌編集委員) 出口 大志

※特集および投稿記事は、著者の責任において執筆された記事であり、必ずしも日本非開削技術協会の見解ではありません。